



~災害から命を守るために~ 地域版ハザードマップ



| 地域版ハザードマップとは、自主防災会(自治会等の地域住民により結成された防災組織)が主体となって、ワークショップを重ねながら、過去の災害履歴や危険箇所、避 魔場所、災害時に役立つ資源等の情報を地図上に表示したものです。今後も修正等あれば、地域で情報共有していただき、地域版ハザードマップを活用してください。 安全な避難場所(緊急的に避難できる場所等を含む)や避難経路を確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。

災害に備えて地図面を確認しましょう!

《大地震》

- 赤色で囲まれた地域(住宅密集地)は、大地震により火災が発生した場合、火の手が延 焼し拡大するおそれのある地域です。
- ★ 大地震が発生した際、紫色で囲まれた場所(一時退避場所)などの広い場所に逃げ、まず 身の安全を確保しましょう。火災が発生している場合は、風向に注意して逃げましょう。

《水害》

- 地図に示した「浸水の範囲」以外の場所でも、雨の降り方によっては浸水する恐れが あるので注意しましょう。
- テレビやラジオなどで雨量情報、警報等の気象情報を積極的に入手しましょう!

下記のウェブサイトにて、気象情報や台風情報などがチェックできます。

『おおさか防災ネット』

アドレス (http://www.osaka-bousai.net/higashiosaka/index.html) 『気象庁』

アドレス (http://www.jma.go.jp/jma/index.html)

安全に避難しましょう!

地域住民

市から発令される避難情報

- ・【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始
- ・【警戒レベル4】避難勧告または避難指示(緊急)
- ・【警戒レベル5】災害発生情報

避難行動すべきタイミング



高齢者等は

【警戒レベル3】で避難



他の住民は 【警戒レベル3】で避難準備

【警戒レベル4】避難勧告で全員避難

- ※1 【警戒レベル4】避難指示(緊急)は必ず発令されるもので はありませんので、待たずして速やかに避難してください。
- ※2【警戒レベル5】は既に災害が発生している状況であり、 命を守るための最善の行動をしてください。

避難行動パターン

優先順位(1)



【指定避難所】

・八戸の里小学校 (東大阪市下小阪 5-3-5)

・八戸の里東小学校

(東大阪市中小阪 5-17-8)

優先順位2

: 指定避難所への移動がかえって危険であれば、より 近隣の安全な場所への避難。

所へ避難する。



近隣の安全な場所 (近隣の頑丈なマンション等)

建物内のより安全な場所 (自宅の2階など、より高い所)

防災情報を収集しよう!

市からの伝達方法

- ・エリアメール/緊急速報メール ·Facebook ·Twitter ·広報車
- ・防災行政無線 ・データ放送(NHK)・市ウェブサイト
- ・おおさか防災ネット(防災情報メール)・L アラート・BizFax

防災行政無線の放送内容が聞こえにくいときは・・・

706-4309-3010

で確認することができます。(放送後24時間以内)

【メモ欄】

災害時の家族の集合場所や非常持ち出し品など、災害時に 必要な情報をメモし、備えましょう。

(例)家族の集合場所・・・○○小学校のグラウンドなど 非常持ち出し品 ・・・水、食糧、薬など